

ながい 市議会だより

飛躍する年に
なりますように



第38回長井市内小中学校児童生徒書き初め大会



もくじ

12月定例会・12月臨時会の概要	2
一般質問	4
市民と市議会との意見交換会	8
行政視察・特別委員会報告	11
3月定例会日程	12



ヤハハエロ(中道地区)



年頭に寄せて

議長 内谷 邦彦



謹んで新春のお慶びを申し上げます。

皆様におかれましては、輝かしい新春を健やかにお迎えのことと、お慶び申し上げます。また、日頃から市議会に対し、多大なるご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年、議会として時代に即した変革が必要と判断し、幅広い調査研究及び協議を行い提言としてまとめる議会制度特別委員会を設置し、協議を進めております。

本年も、議会の二元代表制の一翼を担う責務を再認識し、公平・公正で開かれた議会運営に努めてまいり所存で、少子高齢化などの様々な重要課題に対し、スピード感を持って取り組んでまいります。

結びに、本年が市民の皆様にとって、希望に満ちた幸多き一年となりますことを心よりご祈念いたします。

12月定例会

12月定例会を11月28日から12月17日までの20日間の日程で開催しました。報告1件、一般議案8件、補正予算1件について審議を行い、最終日に追加提案された一般議案2件、予算議案6件の議案を含め、すべて原案どおり可決しました。

なお、一般質問は8名の議員が質問に立ち、当局の考えをいただきました。

主な議案

いづれも誰でも通園制度の開始に伴う条例の設定

児童福祉法の改正に伴い、乳児等通園支援事業及び家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定めるものです。また、令和8年度から開始される「いづれも誰でも通園制度」は、生後6か月から3歳未満のこどもを対象として、

指定管理者の指定

保護者の就労条件を問わず、保育園・認定こども園・家庭的保育事業所・小規模保育事業所・事業所内保育事業所等に通園できるようにする制度です。

市民文化会館の指定管理者に株式会社ケイミックスパブリックビジネスを指定するものです。指定管理期間は、令和8年4月1日から令和13年3月31日までです。



コミュニティセンター条例の一部を改正

長井市コミュニティセンター1使用に伴う使用料金の明確化、簡素化にあたり改正を行うものです。

基本料金

講堂	1時間	400円
会議室	1時間	2400円
会議室	1時間	3500円
調理室	1時間	2100円
調理室	1時間	500円
調理室	1日	3000円

主な補正予算

※1万円以下四捨五入

山形県衛星通信システム第3世代化工事負担金338万円、灯油購入助成事業720万円、補装具給付事業126万円、高齢者外出支援サービス事業79万円、生涯学習プラザ備品購入費81万円、学校給食費負担軽減支援事業費

主な最終日提案議案等

補助金390万円、有害鳥獣駆除事業44万円、環境保全型農業直接支払事業73万円、農地利用効率化等支援事業545万円、長井駅東地区土地利用検討事業1500万円を増額補正するものです。また、市庁舎総合管理業務委託料、フラワー都市交流事業、長井市パークゴルフ場指定管理料などの債務負担行為の補正がありました。

人事院勧告による職員給与に関する条例の一部改正

人事院勧告による一般職の職員及び特別職に属する者の給与に関する条例を一部改正するものです。

また、補正予算として芦沢地区の耐震性防火水槽設置に伴う、電柱移設工事費等180万円の補正がありました。

12月臨時会

12月臨時会を12月23日に開催し、一般会計補正予算1件について審議を行いました。上程された予算案に対し、5名の議員が当局の考えをただし、1名の議員から討論がありました。原案どおり可決しました。

なお、本臨時会は12月17日に国会で成立した物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金（重点支援地方交付金）事業に係る補正予算について審議しました。

補正予算概要

※1万円以下四捨五入

デジタル地域通貨ながいコイン事業2億9816万円。
1人当たり1万2000円の「ながいコイン」を全市民に配布するものです。
長井市おこめ券事業8680万円。1人当たり3080

討論

円の「おこめ券」を全市民に配布するものです。
高齢者施設等物価高騰対策支援事業305万円。市内63の高齢者福祉事業所等を支援するものです。
物価高騰対応子育て応援手当支給事業7495万円。0歳から高校3年生までの子ども1人当たり2万円を支給するものです。

本会議において、採決の前に議題となっている案件に対し、賛成か反対が表明することです。

令和7年度一般会計補正予算第9号

反対討論 平井直之議員

本市におけるおこめ券事業全体では、1200万円を超える経費になり、ながいコイン事業でも同様の通信運搬費等、二重の経費が掛かってい

る。また、この事業に係る職員の人件費も含めると更に経費が大きくなり、経費をかけずに事業を進めるべきと考え

る。物価高騰に対する市民への負担軽減、地域内消費については大賛成であるが、それゆえに今回の物価高騰に対する交付金を最大限、市民の皆様へ支援し、米をはじめ様々購入していただきたいと思っている。少しでも経費が掛からないよう、ながいコイン事業一つにし、システムの有効活用、市民への手厚い支援と一日でも早く配布できるように注力していくべきと考え、反対意見とする。



令和7年12月臨時会 議案等に対する賛否一覧表 （下記以外については全会一致で可決されています）

議席番号 議員氏名 議案等名	議決結果	賛成 反対	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
			平井直之	鈴木英則	勝見英一朗	鈴木裕	鈴木悟司	鈴木一則	渡部正之	竹田陽一	鈴木富美子	渡部秀樹	浅野敏明	金子豊美	平進介	梅津善之	今泉春江	内谷邦彦
議案第87号 令和7年度 長井市一般会計補正予算第9号	原案可決	12:1	●	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	欠	○	○	／

※ 賛否が分かれたものについて掲載しています。

○は賛成、●は反対、欠は欠席。議長（内谷邦彦）は採決に加わらない。

★令和7年12月定例会・臨時会に提出されたすべての議案等の議決結果は市議会のホームページに掲載しています。

議会をもっと身近に

市議会のホームページはこちら⇒



議場で行われる本会議や特別委員会の傍聴は、当日市役所3階の議会棟入口で、住所、氏名等を受付簿に記入するだけで傍聴できます。（団体でお越しになる場合は事前に事務局にご連絡いただくとスムーズに受付できます。）また、パソコンやスマートフォンでも議会中継を傍聴できますので、ぜひご覧ください。



鈴木富美子

地域の資源を生かした
観光商品をつくっては

弁 体験型の観光商品化を
答 進めている

Q. 西根の古代の丘から西山の稜線をつないでいくとピオニーの森があり、さらにその先には、里の名水・やまがた百選に選ばれたパワースポット三階滝があります。

夏には県内外から大勢の観光客がおいでになります。林道である桑沢線は岩盤であり危険な箇所があります。整備をしたうえで、森林セラピの効果を謳うような新たな商品を開発できるのではないですか。地域の資源を生かし、置賜をつなぐ観光に力を入れ

ていくべきではないですか。

A. 三階滝に至る危険個所の整備を、寺泉区や三階滝保存会と検討していきます。やまがたアルカディア観光局では、三階滝を含む地域資源を活用した体験型の観光商品化を進めています。今後も地域全体で受入体制の構築を図るとともに、インバウンドを含めた観光誘客につなげていきます。

Q. 長井マラソンには、県内外、海外からも多くの選手が参加します。走り終えた皆さんに宿泊をしていただく企画や、長井の食を満喫していただく企画など、市民との交流ができる仕掛けはできませんか。交流人口を増やすきっかけになるのではないですか。

A. マラソン大会終了後の宿泊や観光について情報提供しながら、招待選手、ランナーと市民が交流できるイベントを開催することにより、本市の豊かな自然や歴史、文化を体験していただく機会の創出など、地域経済の活性化と本市の魅力向上に努めてまいります。



里の名水・やまがた百選に選ばれた「三階滝」



共倒れが心配な老老介護（イメージ）

家族介護から地域が
支える老老介護に

弁 コミセンと連携し、地域の
答 支え合い活動を支援



竹田 陽一

Q. 老老介護は、介護者がけがや持病などで体調を崩すリスクが高く、共倒れになる心配があります。介護者が精神的に追い詰められないよう、定期的な健康チェックやリフレッシュの時間が必要ではありませんか。

A. 介護を行う家族のリフレッシュを図る場として、家族介護予防教室や言語聴覚士による懇話会、認知症カフェを開催しています。そのほか、ミニデイサービスや地域の居場所の情報提供を行います。

Q. まだまだ介護は家族がするものとの考えがあります。一方、公的なサービスとして高齢者を対象とした地域包括ケアシステムが進められています。今後は住民それぞれが支え合う地域共生社会の実現が求められます。家族介護から地域全体で支える体制の実現に向けてどのように考えていますか。

A. 生活支援体制整備事業にて、地域住民の支え合い活動を支援し、互助の力を高めます。コミュニティセンター、地区長、民生委員・児童委員などと協力体制をとっていきます。

Q. がん検診を受けることで、早期発見・早期治療が可能となり、多くの命が救われます。がん検診の受診率向上に向けて、今後どのように取り組めますか。

A. 個別通知による受診勧奨、市報・ホームページ等での周知を継続するとともに、企業等と連携を図り、職場等で受診機会のない方への周知等、一人でも多くの方に受診していただけるよう取り組みます。

Q. 激甚化する自然災害等に対応するため、置賜地域の消防広域化は必要だと思っています。財政負担や、メリット、デメリット等、広域化の是非も含め今後検討されるとのことですが、現時点での当局の考えを伺います。


A. 国の指針に基づき、広域化実現に向けた検討を進めてまいります。また、財政負担についても、平等な負担となるよう協議を進めてまいります。

Q. コミュニティ協議会が法人化され、コミセン職員の待

答 弁

令和11年3月までに
消防広域化を実現したい

置賜地域の消防広域化と財政負担の考えは



金子 豊美

遇改善も進みましたが、人事院勧告に対する対応はどうなりますか。

A. 従前よりコミセン職員の給与は市職員給与を参考に決定しており、人勧に基づく市職員の給与改定時も同様に見直しすることとしています。

Q. 省エネ化の取組として、各地区コミセンのLED化を進めるべきと考えますが、今後の計画を伺います。

A. LED化については、各コミセン施設の修繕に合わせ順次進めています。省エネ等の観点からも引き続き計画的な交換を検討してまいります。

Q. コミュニティ協議会の理事は各コミセンの館長です。情報を共有し、無駄のない効率的な事業を展開するには、中心となる職員が働きやすい環境であることが必要であり、協議会の役割が大切と考えますがどうですか。

A. 各地区コミセンの効率的な事業展開のために協議会と市との連携は非常に大切です。問題解決のため引き続き連携し事業を進めてまいります。



ピックルボール



西置賜行政組合消防本部


Q. 本市では第六次総合計画に、健康づくりの基盤となる「市民ひとりスポーツを楽しむ元気なまち」を掲げていますが、現在行っている取組だけでなく、誰もが参加してみたいスポーツの機会創出を図るべきと考えます。そこで、テニス、卓球、バドミントンの要素をもった、未経験者でも楽しめる「ピックルボール」を普及してはどうですか。

A. 2年前から長井市スポーツ推進委員会が中心となり、ニユースポーツ普及の一環とし

答 弁

多くの市民が楽しめる
スポーツの振興を図る

誰もが楽しめるピックルボールを普及しては



浅野 敏明

て実践していますが、ピックルボールに限らず、多くの市民が楽しめるスポーツの振興を図っていきます。

Q. 第4期都市再生整備計画事業では、「居心地が良く歩きたくなるウォーカブルなまち」を目指していますが、景観まちづくりとして進めるべきではないですか。

A. 重要な文化的景観区域でもある文教の杜エリア周辺で、まちなかの周遊を促進し、歩きたくなるまちづくりの推進を目指しています。景観まちづくりとして、魅力的な景観の創造、保全につながる事業を検討してまいります。

Q. 生涯スポーツや健康づくりの拠点、また、避難所となる置賜生涯学習プラザは、早期の老朽化対策が必要です。今後の長寿命化計画に基づく修繕計画を伺います。

A. 来年度は実施設計を行い、令和9年度から工事に着手できるよう進めていきますが、プールの方向性を明確にしたうえで、時代に合った施設にしていきます。



鈴木 悟司

防災士を養成し今後普及させてはどうか

弁 答 自主防災組織やコミセン等
を通じ普及を進める

Q: 防災士は、自助・共助・協働の理念に基づき、社会の様々な場で防災力を高める活動が期待できる民間資格を取得した人です。市民の方々と自主防災組織に関わる方々に意識高揚していただくには素晴らしい資格だと考えますが、本市でも今後普及させる考えはないか伺います。

A: 防災士が各地区にバランスよく配置されるよう、自主防災組織やコミュニティセンター、消防団の活動等を通じて普及啓発を進めてまいります。

す。資格取得についてもこれまで同様支援してまいります。

Q: 全国各地で熊が人里に侵入し人身被害が増え、国民の安全・安心を脅かす深刻な事態となっています。本市でも毎日のように目撃されています。ここまで熊の出没が増えている状況では、子どもを歩かせて学校に通わせることは難しい環境になっていると考えます。児童・生徒の登下校時の安全確保について伺います。

A: 各地域では、学校・地域・保護者等それぞれの立場で、子どもたちの命を守るためにできることは何か話し合いがなされています。今後も総がかりで安全確保に努めていく所存です。

Q: 高齢化している地区長や隣組長の負担軽減を図る意味でも、月2回の文書配布を月1回に削減できませんか。

A: 市報の発行を月1回にし、お知らせは市報掲載を基本として配布物の削減に努めています。今後、配布回数削減やデジタル媒体活用などの負担軽減を図ってまいります。



個体数が増加している熊



地域防災力を高める防災士



渡部 秀樹

有害鳥獣駆除にインセンティブを

弁 答 報奨金を含め、猟友会への
支援拡充を検討する

Q: ここ数年の有害鳥獣の被害や発見件数は、ほぼ全国的に増加しています。これはかつて個体数を減らし過ぎず、増えないようにコントロールしてきたマタギの方々の減少により、個体数の増加に歯止めが利かなくなり、まるで水を湛えるダムが、貯水の限界を超え溢れ出すように、野生動物を支え育んできた山々から人里へと生息域を求め、降りてきてしまったのだと私は感じています。かつて熊一頭仕留めれば、現在の価格にす

ると85万円から150万円程の儲けはあったといわれていますが、現在は商品価値が激減しています。

そこで、命がけで熊などの駆除をいただいている方々の報酬に上乘せし、懸賞金のようなインセンティブを設けることはできませんか。

A: 例年と比較し、熊の出没件数や捕獲頭数が非常に多くなっています。また、鳥獣保護管理法の一部改正により、人の日常生活圏における銃の発砲が可能となったため、猟友会の負担が非常に大きくなっています。

国の交付金を活用して、出動に応じて猟友会へお支払いしている報償費については今後増額を検討しています。また、捕獲頭数に応じた報奨金についても、猟友会と相談しながら検討してまいります。

引き続きモーションセンサーカメラ等の活用により、効果的な有害鳥獣対策に取り組むとともに、猟友会への支援拡充に努めてまいります。

Q. 2025年11月、新潟県花角知事は、避難路の整備などに取り組むことを前提に、東京電力柏崎刈羽原発6号機、7号機の再稼働を容認する考えを明らかにしました。この原発は、2004年の新潟中越地震発生時、火災による放射能漏れや、機器・建物が損傷する重大な事態に陥りました。その後、東京電力の火災対策の不備やテロ対策設備不備などが判明し、原子力規制委員会は2011年4月に運転停止命令を出しました。

弁 答
地元自治体の意思は尊重されるべき

柏崎刈羽原発再稼働に反対すべき



今泉 春江

気象予報を見れば、この地域は日本海側からの西風が常に吹いており、原発事故が再び起これば本市も放射能の影響を受けます。市民を守るために再稼働に反対すべきです。

A. 2025年2月に閣議決定された第七次エネルギー基本計画では安全性の確保を大前提に、原発再稼働の加速に向け官民を挙げて取り組むという方針の転換をしています。再稼働を総合的に判断した地元自治体の意思は尊重されるべきと考えますし、市長として発言は慎重にしなければならぬと思っています。

Q. 2026年4月から小学校の給食費が無償化となります。今後は、市として中学校の無償化に取り組んでほしいと思いますがいかがですか。

A. 中学校の給食費無償化は、物価高騰もあり6千万円の財源が必要になります。実施したいですが難しいと感じています。教育委員会や運営協議会の意見、保護者の声を大切にしながらか国の動向を見いてきます。



みんなが楽しめる長井マラソン大会



柏崎刈羽原発（新潟県）

弁 答
市民の参加とスポーツを通じた健康づくりの充実

参加者も市民も皆が楽しめるマラソン大会に



梅津 善之

Q. 今年の長井マラソン大会では、ハーフ、フルマラソンに加えて、1 km、2 km、4.2195 kmのコースが新設されましたが、参加者の状況や感想はどうでしたか。

長井マラソンをより充実したものにするためにも、参加者はもちろん市民も楽しめる大会にしていきたいと考えますがいかがですか。

A. 参加者は昨年を大幅に上回り、タンザニア選手団との交流もでき、来年も参加したいとの声をいただきました。

今後は、幅広いボランティアの皆さんや陸上競技協会の皆さん、警察の協力を得ながら、地方創生の制度を活用して、今年度から3年間でさらに充実させていきます。

Q. 11月に豊田小学校と伊佐沢小学校で開催された、学校研究発表会に参加させていただきました。

自分で考え自分で決めて表現する子どもを育てていくとともに、先生方自身も変わらなくてはならないということでしたが、ICTの活用や個別最適な学びを、勉強しながら実践している先生方の負担は相当なものと思像します。そのことについて、先生方はどのような考えでいますか。

A. 教師の負担が増え、苦しい実情はありますが、働き方改革を進め、教師が教師でなければできない業務に専念することで、教師の働きやすさと指導力の向上を両立させ、子どもたちに効果的な教育活動を行っていきたいと考えています。より一層のご理解とご支援をお願いいたします。

ご質問・ご意見におこたえします

第11回市民と市議会との意見交換会

～さらなる市民参加と開かれた議会を目指して～

10月27日から11月7日にかけて第11回市民と市議会との意見交換会を開催しました。

市議会では議会の活性化と情報公開に向けて活動しております。このたびの意見交換会では本市の財政や子育て支援などを中心に、説明や報告をさせていただきました。市民の皆さんからは、暮らしの課題や要望、ご意見を数多くいただき感謝申し上げます。

1. 開催状況

対象地区	会 場	開催日	班	参加人数	班	担当議員
平 野 地 区	平野コミュニティセンター	10月27日(月)	2班	11人	1 班	◎今泉春江 平 進介 竹田陽一 鈴木一則 平井直之
中 央 地 区	中央コミュニティセンター	10月30日(木)	3班	13人	2 班	◎鈴木 裕 梅津善之 金子豊美 鈴木富美子 鈴木英則
西 根 地 区	西根コミュニティセンター	10月31日(金)	1班	12人	3 班	◎勝見英一朗 浅野敏明 渡部秀樹 渡部正之 鈴木悟司
致 芳 地 区	致芳コミュニティセンター	11月 4 日(火)	1班	8人	◎は班代表者。議長(内谷 邦彦)は全ての班を統括する。	
豊 田 地 区	豊田コミュニティセンター	11月 4 日(火)	2班	17人		
伊佐沢地区	伊佐沢コミュニティセンター	11月 7 日(金)	3班	10人		

2. 意見・要望等(概要)

意見・提言・要望・質問等	回 答
特別委員会の報告は令和 8 年 6 月となっているが、議員定数・報酬を検討するには遅すぎないか	議員にも様々な意見があり、方向性を集約するために、令和 6 年 3 月から議員間討議を 6 回行いました。次に、議会制度の諸課題に係る研究会を 5 回開催後、議会制度全般の見直しを時代に即した変革が必要であることから、令和 7 年 6 月に議会制度特別委員会を設置しました。ていねいな議論を重ねる必要があり、改選時期を踏まえて、令和 8 年 6 月に報告書を提出することとしています。
議会制度特別委員会での検討状況についての具体的な進捗状況はどうなっているのか	諸規定の改定を行い、市民アンケートの実施、議会ガイドブックの作成などに取り組んでいます。
政治への関心を高めるためにどんな取組をしているのか	令和 6 年 8 月に市内高校生 6 名との懇談会を開催するとともに、現在、『長井市議会ガイドブック』の作成に取り組んでいます。
市民アンケートの回答が大半の考えであるかのように捉えるのには疑問がある	無作為抽出の市民アンケートの回答は、市民の意見を一定程度反映するものと考え、十分に分析・考察いたします。議会として主体性と責任をもって議論を深め、結果をまとめる考えです。
実質公債費比率が14.6%で令和 8 年、9 年、10 年が限りなく18%に近づくのだから、財政的に新規事業が望めないということか	公債18億円内、市債12億円とした財政計画なので、今後はさらに国等の交付金や補助金を使いながらある程度新規事業を進めつつ市債を返済していくこととなります。それにより将来負担比率は少しずつ下がりながら推移していくことになると思います。
ふるさと納税の返礼品に米が扱われていないが、その事情は	返礼品の実績としては多くはありませんが、個人で精米施設をお持ちの方がおり、ふるさと納税の登録業者の方はいます。
有害鳥獣出没時の情報伝達について、屋外拡声装置が聞こえにくいので、直ぐに広報車を回せないか	現在、防災危機管理課が改善に向け対応しています。各地区長に一斉にお知らせするシステムも提案していきますのでご理解願います。

意見・提言・要望・質問等	回 答
現在、地域おこし協力隊は何人いるのか、また全国的にも多いと聞いているが、受け入れしている市職員の負担が増えるのでは	地域おこし協力隊は20人で、各部署にそれぞれ配属され職務にあたっています。協力隊員は配属された部署で精力的に活動していますので市職員の大きな負担にはなっていないと思います。
長井市が全国的に有名になったタンザニアのホームタウンの件について市民からの意見は	東京オリンピック、パラリンピックのホストタウンに長井市になったことから、スポーツ交流や工業技術の実習生受入れを行っています。しかし、JICAが発したホームタウンの認定をめぐり、事実と異なった情報が拡散しましたが、撤回されています。
ふらり体育館の雨漏り対策の進展は	建物自体の老朽化等から改修工事ができない状況です。次期公共施設等整備計画に盛り込むべく庁内の委員会等で検討をしています。
小学校の統廃合について親御さんから大きな学校への統合を望む声も出てきているが	地域の小学校を地域コミュニティの拠点として捉えており、小学校の統廃合は検討していません。中学校の統廃合については今後検討する必要があると思います。
伊佐沢小学校は英語教育に力を入れており、学区外からも登校しているが、県内外特に首都圏からの移住を伴うような打ち出しができないか	伊佐沢小学校については、英語教育より、少人数特認校として県内外にPRも検討できると思います。また、移住・定住の補助もあり、伊佐沢のくらし体験ツアーなども企画されています。
今年度は、小学校の登校時に熊対策として、スクールバスを運行されているが、夏季も熱中症対策としてスクールバスの運行はできないか	熊や熱中症の安全対策は必要だと思います。地区によっては保護者のご協力をお願いしています。市営バスの登下校利用についても検討できるのではないかと思います。
家主の居ない空き地の草木が生い茂り困っている。市で刈ることはできないのか。また、空き家についてどのような状況なら行政が動けるのか	草木の繁茂等については市民課にご相談ください。周辺環境に悪影響がある場合は、市で管理者等を調べて改善を依頼することができます。空き家・空き地は私有財産であり、法律では所有（相続）者、管理者に責任があります。相続放棄された土地であっても、行政が直ちに除草等を行うことは困難です。
旧ハイマン電子高野町工場の跡地は市で購入したのか	債権者の相続放棄が完了し、現在裁判所において土地・建物管理人を認定し長井市への所有権移転の手続きを行っているところです。
長井南産業団地の立地企業の現状は	第1次募集は10月末で締め切っていますがその結果は承知していません。以前の説明では2社と話を進めていると聞いています。
熊の駆除・捕獲に対応する猟友会への手当等はあるのか	イノシシについては、作物に被害を及ぼす夏季の捕獲を推進するため、捕獲経費の上乗せ支援等を行っています。熊対策の支援については捕獲報償金はありませんが、捕獲作業に対する日当手当を支給しています。
河川敷などに熊が出没するので草刈りをして欲しい	河川敷等の樹木伐採ややぶ刈などについては、国や県への要望を行い、連携を図りつつ本市も対応を検討していくことになると思います。
降雪時に雨水側溝を流雪溝として使いたいのだが、グレーチングが大きく重いので開けられないので半分のサイズに切断できないか	担当課には伝えますが、半分のサイズのグレーチングもあります。また、本市は協働のまちづくり支援事業にも力を入れていますのでご検討ください。

※いただいた意見等を要約して掲載おりますが、上記以外の意見・提言・要望・質問等は10ページに項目ごとまとめて掲載しております。また、長井市議会ホームページでも詳細をご覧ください。



会場の状況（平野コミュニティセンター）



会場の状況（中央コミュニティセンター）

第11回 市民と市議会との意見交換会

意見・提言・要望・質問等の概要一覧

◆意見交換会について

- ・参加者が少なく不安、政治に対し無関心になるのでは(致)
- ・子育て世代等、焦点を合わせた日程にしては(致・豊)

◆財政について

- ・健全な財政運営のため市議会は注視を(致・伊)
- ・実質公債費比率が令和9年から18%に近づくが(平)

◆公共交通について

- ・実証実験をした自動運転バスの報告は(伊)
- ・土日に道照寺平スキー場までの市営バス運行を(平)
- ・市営バスの利用者が少ない(平)

◆公共施設整備等について

- ・公共施設等整備計画策定には地域の代表者も(西)
- ・旧TNI工業跡の軽運動場に人口芝を(伊)
- ・くるんとの来客数のカウント場所は(平)
- ・中学校の統廃合やコミセンの建替えの時期は(豊)
- ・白つつじ公園の駐車場はメンテナンスが必要(豊)
- ・旧長井小学校第一校舎の駐車場は不便だ(豊)
- ・歌丸公民館の駐車場を舗装したいが予算が無い(豊)
- ・新たな公園整備の前に既存施設を再整備すべき(豊)

◆長井南産業団地と企業誘致について

- ・移転にも補助金が出るが、誘致条件の精査を(西)
- ・土地造成に係る迂迴路の除雪体制は(豊)

◆文化財関係について

- ・新聞掲載の文化財関係43事業の具体的内容は(西)
- ・文化財の展示・収蔵に空き家等を活用しては(西)

◆有害鳥獣対策について

- ・熊の駆除は猟友会に任せずに市がすべきでは(西)
- ・赤外線等を使ったドローンでの対応は(西)
- ・熊にGPSをつけての調査等の検討は(致)
- ・熊対策の支援金は、しっかりと議論し支給を(致)
- ・モーションセンサーカメラの設置場所は(中)
- ・熊のえさになる河川敷にある柿の木の伐採を(中)

◆中心市街地の整備について

- ・空き家・空き地等活用等整備事業の予定地は(中)
- ・協同薬品工業跡地の活用は(中)
- ・道の駅にコンビニ設置の検討を(中)

◆旧ハイマン電子高野町工場跡の公園整備について

- ・どのような公園に整備するのか(中)
- ・公園整備に合わせ水害対策用の地下貯水池を(中)

◆道路・橋梁等の整備について

- ・必要な生活道路にお金をかけるべきでは(致)
- ・長井南産業団地から山形市までの高規格道路は(致)
- ・西廻り幹線道路についての報告は(平)
- ・道の駅から川のみなと公園に抜ける道路を(平)
- ・災害で壊れた福田橋の下の橋の完成は(豊)

◆河川整備・管理について

- ・国や県管轄河川の刈払い等は国や県で(西・致)
- ・ボランティアによる河川敷の草刈りは限界だ(平)

◆宅地開発・移住定住対策について

- ・宅地開発に係る道路拡張とごみ集積所の設置は(致)
- ・伊佐沢小学校の英語教育を移住・定住対策に(伊)

◆公共下水道について

- ・下水道の有収率が低い(豊)
- ・道路陥没の危険性の調査は(豊)

◆その他

- ・コミセン職員の処遇改善を(西)
- ・水はけの悪い西根小学校のグラウンド工事を(西)
- ・鶴岡市議会議員選挙をどう捉えているか(中)
- ・モーションセンサーカメラを防犯にも(中)
- ・定年延長等により自治会は担い手不足だ(中・豊)
- ・小さな拠点は人口減少社会で機能するのか(平)
- ・広報等の配布物を毎月1回にできないか(豊)
- ・市の事業に市民の意見を反映しているか(豊)
- ・フットパス事業は水管理や草刈り等が大変だ(豊)



会場の状況(西根コミュニティセンター)



会場の状況(致芳コミュニティセンター)



会場の状況(豊田コミュニティセンター)



会場の状況(伊佐沢コミュニティセンター)

議会運営委員会行政視察報告

議会運営及び議員活動の活性化を図ることを目的とし、議会運営委員会が先進地を視察しました。

令和7年10月22日～24日

岐阜県可児市、静岡県袋井市、菊川市

自治体での議会改革の取組について、視察を行ってきました。

岐阜県可児市では、市民アンケートによる意識調査を行った。市民との意見交換の場を委員会や地区ごと等に設け市民の意見をまとめ、検討・協議し政策提言として提出するサイクルをつくり、活発に取り組んでいました。

静岡県袋井市では、市民との意見交換会について、やり方や方法を変えながら市民の意見を聞く機会を増やす取組を行い、そこで出た意見を基に意見書を提出するなど積極的に進めていました。また、ICTを活用したオンライン会議を取り入れていました。

菊川市では、タブレット導入に伴い、ペーパーレス化や、議会運営の効率化、情報の共有、危機管理体制の強化等の目的として取り組んでおり、

その中で、災害発生時の議会対応として、災害時業務継続計画（BCP）を策定し、緊急時における議会としての行動指針等をまとめておりました。

今回視察し、市民へのアンケートや、市民との意見交換会の持ち方について積極的に取り組んでいました。また、災害への対応や政策提言までのサイクルが確立されており、議会活動の活性化に大変参考となりました。



議会制度特別委員会について

経過

令和6年3月～ 議会制度の様々な課題についての議員間討議を開始
令和7年2月～ 「議会制度の諸課題に係る研究会」として協議を継続し提言書を議長に提出
令和7年6月～ 「議会制度特別委員会」を設置

「議会制度の諸課題に係る研究会」でまとめた提言書をもとに市議会会議規則等の一部修正を行いました。さらに大きな課題である政治への関心を高めることや議員定数の在り方等についての幅広い調査研究及び協議を行うため、「特別委員会」の設置を決めました。

目的

議会制度全般の見直しと時代に即した変革が必要となっている現状を踏まえ、幅広い調査研究と協議を行い、見解を整理して報告することを目的としています。

取組

- 議員研修の充実
 - ・「対話する議会・議員を目指して」令和7年12月19日 講師：青森大学 佐藤敦教授
- 市民アンケートの実施
 - ・有権者からの無作為抽出1,000名及び市報掲載QRコードからの任意回答
 - ・回答期限 令和7年12月31日 集計・結果考察 令和8年1月～2月
- 「長井市議会ガイドブック」作成
 - ・令和8年3月配布予定
- 委員会のオンライン開催の環境整備など



報告

令和8年6月をめどに、報告書を取りまとめ公表する予定です。



令和8年長井市消防出初め式



山形県市議会議長会主催の議会報研修会が11月6日、新庄市で開催され、市議会だより編集特別委員会委員6名が参加しました。研修では議会報を広報ツールにするための編集ポイントなどについて講話をお聞きし、個別の改善点を指摘いただき大変参考になりました。

議会報研修会に参加しました

次回 3月定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
2月8	9	10	11	12 全員協議会	13 総務 常任委員会協議会	14
15	16 文教	17 厚生	18 産業・建設	19 常任委員長会	20 招集告示	21
22	23	24	25	26 議会運営委員会	27 本会議(開会) 予算特別委員会	28
3月1	2	3	4 本会議(補正予算表決) (一般質問)	5 本会議(一般質問)	6 本会議(一般質問)	7
8	9 総務	10 文教	11 厚生	12 産業・建設	13 予算	14
15	16	17 予算 特別委員会	18	19 予算 特別委員会	20	21
22	23	24 本会議 (表決・閉会)	25	26	27	28

◎請願の提出期限は、2月6(金)の予定です。

◎正式な日程や質問内容などを、市議会のホームページでお知らせしています。



長井市議会ホームページ

長井市議会

検索

文教常任委員会

学校研究発表会を視察しました

文教常任委員会委員が11月14日、伊佐沢小学校及び豊田小学校で開催された学校研究発表会を視察しました。伊佐沢小学校では「外国語活動におけるコミュニケーション能力の育成」を、豊田小学校では「課題を解決する力を身に付け、学び実感できる子供の育成」を主題に公開授業、研究会、全体指導を行っている様子を視察し、今の授業の在り方を学ぶよいきっかけとなりました。



◀伊佐沢小学校



豊田小学校▶



◎渡部秀樹
平井直之
鈴木英則
○渡部正之
鈴木悟司
竹田陽一
(◎委員長 ○副委員長)

ながい市議会だより
編集特別委員会

編集後記

気候変動の影響は年々深刻さを増しており、夏の猛暑や記録的な少雨、局地的な豪雨といった自然災害が頻発しています。天候に左右される水稲は「令和の米騒動」と呼ばれるほどの混乱と価格高騰が続きました。本市においては、できるだけ早く市民の皆さんのお手元に届くよう「おこめ券」をお配りしています。ぜひ、地元産のおいしい新米をご購入いただきますと思います。

皆様にとって、幸多き一年になりますようご祈念申し上げます。

(S・S)